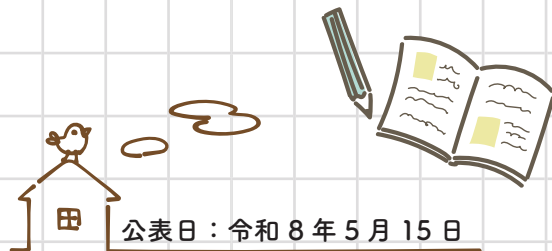


令和7年度

COMPASS 児童発達支援センター AEC 宜野湾 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年5月15日

○事業所名	COMPASS児童発達支援センター AEC宜野湾		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和 7年 11月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和 7年 11月 21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	17施設	(回答数) 13施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 11月 29日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは保育所等訪問支援の質の向上を図るため、専門性のある職員の知識や経験を活かし、事例検討や支援方法に関する勉強会を定期的に実施しております。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない職員の更なるスキルアップを目指していきます。
2	・専門性の高い支援と、わかりやすい説明・助言ができており、保護者、訪問先施設との連携が良く、相談しやすい雰囲気があるとの声をいただいております。	・日々のフィードバックを丁寧におこない、保護者様や訪問先施設との信頼関係の構築に努めております。 ・子ども一人ひとりの特性や状況に応じた支援方法を工夫しております。 ・保護者様や訪問先施設へ支援の意図を丁寧に共有し、一貫した関わりがおこなえるよう努めております。	・保護者、訪問先施設との情報交換の機会を増やし、相談しやすい体制をさらに整えていきます。 ・子どもの成長や変化を記録し、支援計画により的確に反映していきます。 ・専門職員とも連携し、支援の質を継続的に向上させていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問担当職員同士での情報共有の方法が統一されておらず、支援の流れが不明瞭になることがあります。 ・記録、モニタリング、計画更新などの事務作業で、提出遅れや修正が発生しやすい点が挙げられます。	・担当者の兼務体制と配置変更が続いたことで、役割の整理・情報共有・事務手順が統一されず、弱みに繋がったと考えております。	現在、訪問担当が1名のみとなっており、属人化しやすい体制となっているため、情報共有の仕組みづくりや代替担当者の育成、事務作業の手順化など、安定した支援体制の整備が必要であると考えております。
2			
3			

